

決算説明会

第2四半期(累計)

(2011年6月期)

2011年2月14日

株式会社 アルバック

◆ 将来見通しに関する記述についての注意事項

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。当社グループのお客様であるフラットパネルディスプレイ(FPD)・太陽電池・半導体・電子部品業界は技術革新のスピードが大変速く、競争の激しい業界です。

また、世界経済、為替レートの変動、FPD・半導体・電子部品などの市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的・間接的に影響を与える様々な外部要因があります。したがって、実際の売上高および利益は、このプレゼンテーション資料に記載されている予想数値とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆ 本資料における表示方法について

数値： 単位未満四捨五入

比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入

会計期間の表現：

2Q(累計)：第2四半期連結累計期間

2Q：第2四半期連結会計期間

- 2011年6月期(2Q(累計))業績概要
- 2011年6月期通期見通し
- 今後の事業展開について

代表取締役社長 諏訪秀則

- 貸倒引当金の処理について

事業の状況

■事業環境

- ▶欧州の財政危機
- ▶各国の通貨安競争と円高→日本経済に影響大

■アルバックの状況

▶ポジティブ要因

◆スマートフォンの急速な普及が大きく影響

- ⊕小型液晶、有機ELの設備投資活発化。引合い、受注増加。
- ⊕半導体メモリー増産、設備投資増加
- ⊕有機ELの設備投資で韓国でクライオポンプを大量受注
- ⊕タッチパネル用巻取式成膜装置、インライン式スパッタ装置引合い、受注増加

◆LEDは中国、台湾で活況。韓国のバックライト用途は低迷

▶ネガティブ要因

◆大型TV用液晶(8.5G級)の設備投資は12/6期以降に延期

◆PVは、薄膜Si太陽電池が結晶系に対し価格優位性を発揮できず低調に推移

- ⊕変換効率向上、生産コストのダウンが急務

◆マテリアルは、中国大型TV用設備投資の遅れで予想値を下回る

- ⊕市場確保に向け開発、生産体制の構築を整備中

2011/6期 2Q(累計)実績

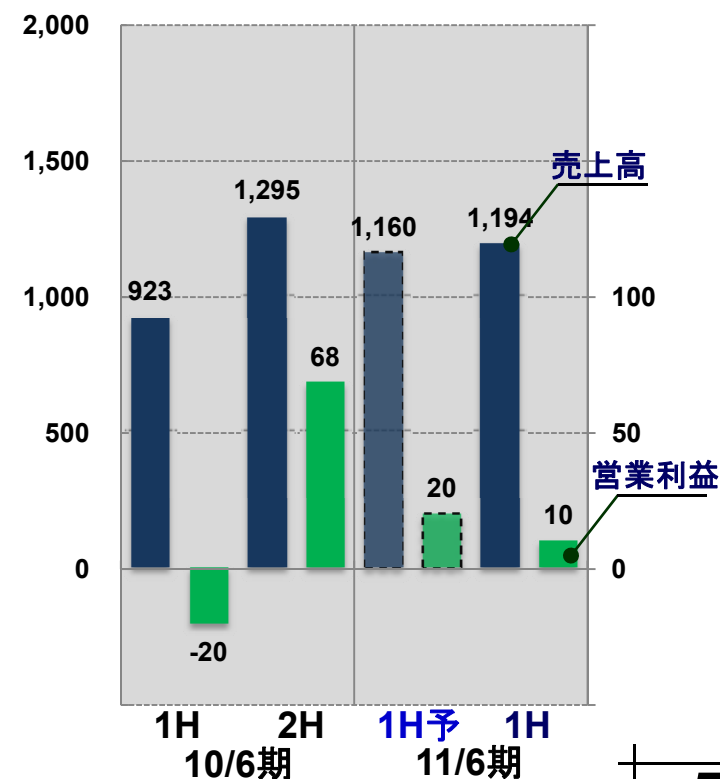
受注高は、PVが不調で予想値を下回る。売上高は、スマートフォンの影響で、FPD製造装置、半導体及び電子部品製造装置、コンポーネントが伸び、予想を上回る。利益では、売上総利益率が予想から2ポイント上回り、収益性が向上。営業利益は、1Qは予想以上。2QはPVの貸倒引当金の計上で大幅な赤字となる。

【単位:億円】

	2010/6期 2Q(累計)	2011/6期 2Q(累計)			
		予想	実績	予想比	
				増減額	増減率
受注高	1,189 (+4%)	1,126 (-5%)	1,023 (-14%)	-103	-9.2%
受注残高	1,353	1,051	910		
売上高	923 (-15%)	1,160 (+26%)	1,194 (+29%)	34	2.9%
売上総利益	155	216	245	29	13.5%
売上総利益率	16.8%	18.6%	20.5%		
営業利益	-20 (-)	20 (-)	10 (-)	-10	-50.1%
営業利益率	-2.2%	1.7%	0.8%		
経常利益	-18 (-)	12 (-)	8 (-)	-4	-32.8%
経常利益率	-1.9%	1.0%	0.7%		
当期(四半期)純利益	-12 (-)	4 (-)	-8 (-)	-12	-

売上高と営業利益の推移

【単位:億円】



【 ()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

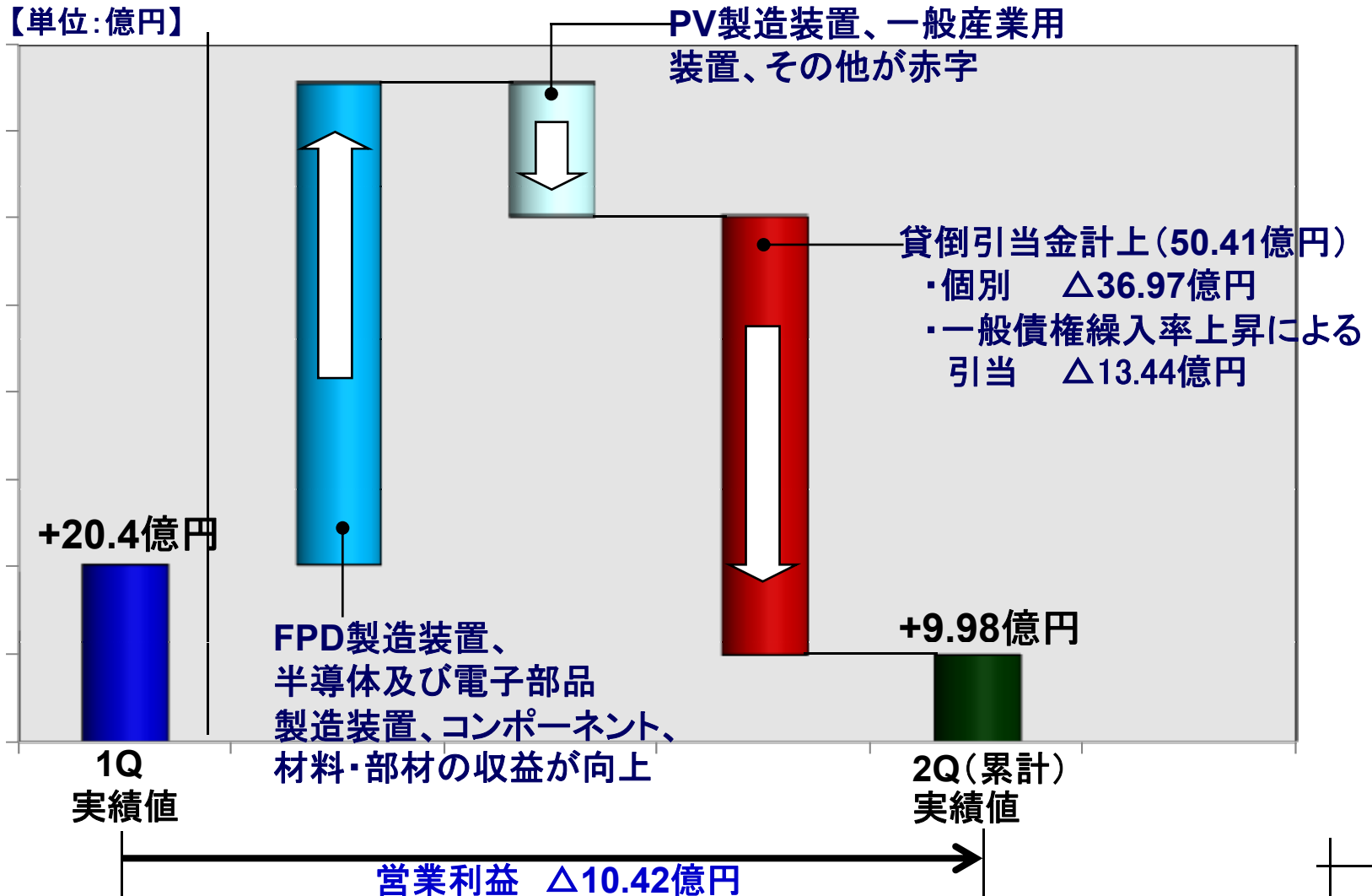
品目別売上高の実績(2Q(累計))

【単位:億円】

2010/6期 2Q(累計)		2011/6期 2Q(累計)			
セグメント及び品目	実績	予想	実績		主な変動要因
			売上高	予想比 (増減率)	
真空機器事業	741	939	1,004	7%	
FPD製造装置	347	476	531	12%	中小型液晶、有機EL関連が前倒し
PV製造装置	163	138	112	-19%	中国向け薄膜Si太陽電池の計画遅延
半導体及び電子 部品製造装置	99	141	155	10%	メモリ、LED関連が好調
コンポーネント	84	120	132	10%	FPD関連のポンプが好調
一般産業用装置	48	63	74	17%	タッチパネル、中国向けが好調
真空応用事業	182	221	190	-14%	
材料・部材	101	113	104	-8%	中国大型液晶ラインの計画遅延
その他	81	108	86	-20%	中国向け中古機販売が不調
合計	923	1,160	1,194	3%	

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

営業利益増減分析(2011/6期 2Q(累計))





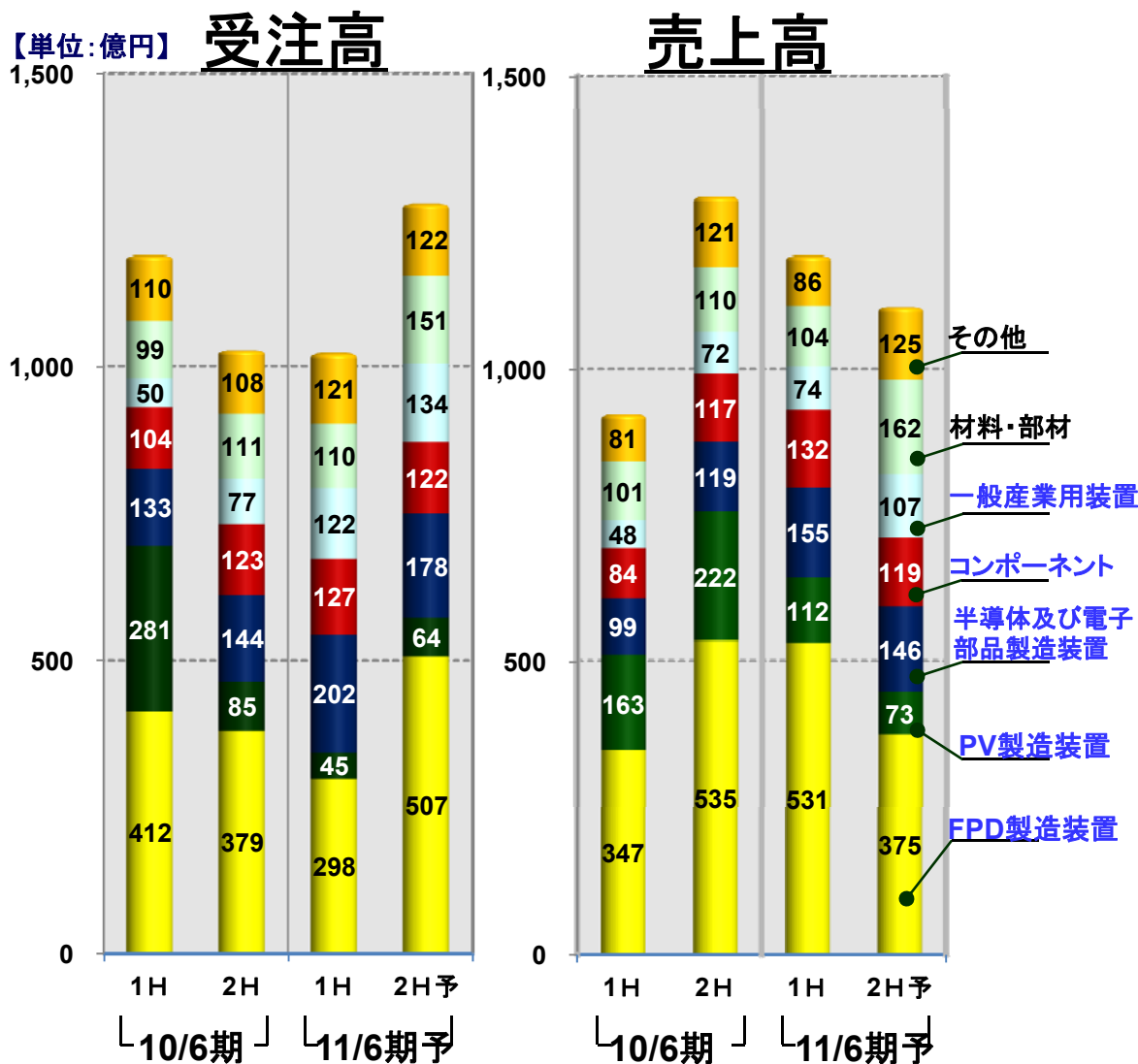
■ 2011年6月期通期見通し



代表取締役社長 諏訪秀則



2011/6期業績予想(1)



品目	下期の見込み
FPD製造装置	中小型液晶が好調を維持、大型液晶が一服
PV製造装置	薄膜系は投資計画延期で低調
半導体及び電子部品製造装置	メモリ、LED関連が好調を維持
コンポーネント	FPD製造装置用真空ポンプや小型真空ポンプが好調を維持
一般産業用装置	巻取式成膜装置、熱処理炉など好調
材料・部材	韓国の液晶向けITO,Cuターゲット材料などが伸長
その他	分析機器が復調

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

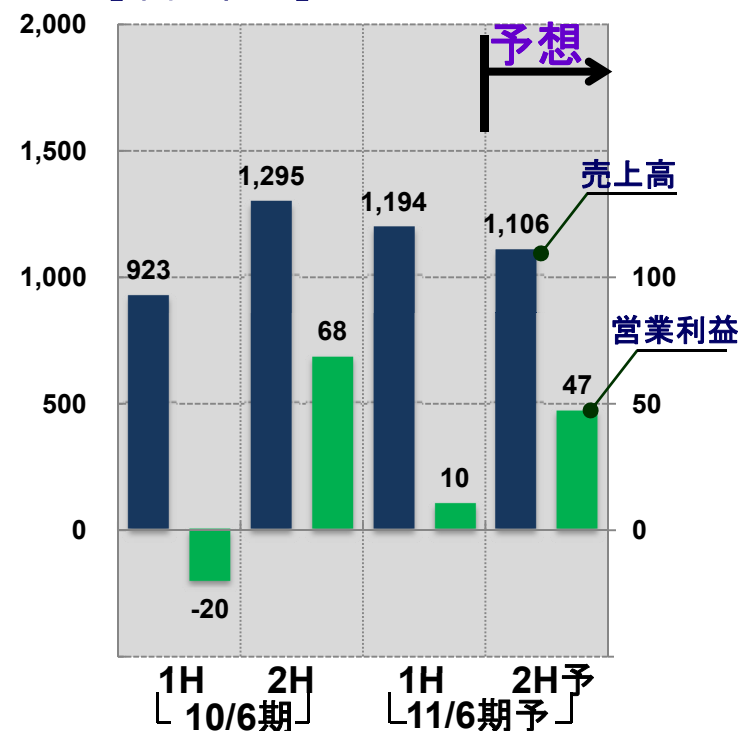
2011/6期業績予想(2)

【単位:億円】

	2011/6期予想			2010/6期	前年同期比 (増減率)
	2Q(累計)実績	下期	通期		
受注高	1,023 (-14%)	1,277 (+24%)	2,300	2,217	4%
受注残高	910	1,081	1,081	1,083	
売上高	1,194 (+29%)	1,106 (-15%)	2,300	2,218	4%
売上総利益	245	244	489	406	20%
売上総利益率	20.5%	22.0%	21.3%	18.3%	
営業利益	10 (-)	47 (-31%)	57	48	19%
営業利益率	0.8%	4.3%	2.5%	2.2%	
経常利益	8 (-)	37 (-45%)	45	49	-9%
経常利益率	0.7%	3.3%	2.0%	2.2%	
当期純利益	-8 (-)	12 (-63%)	4	21	-81%

売上高と営業利益の推移

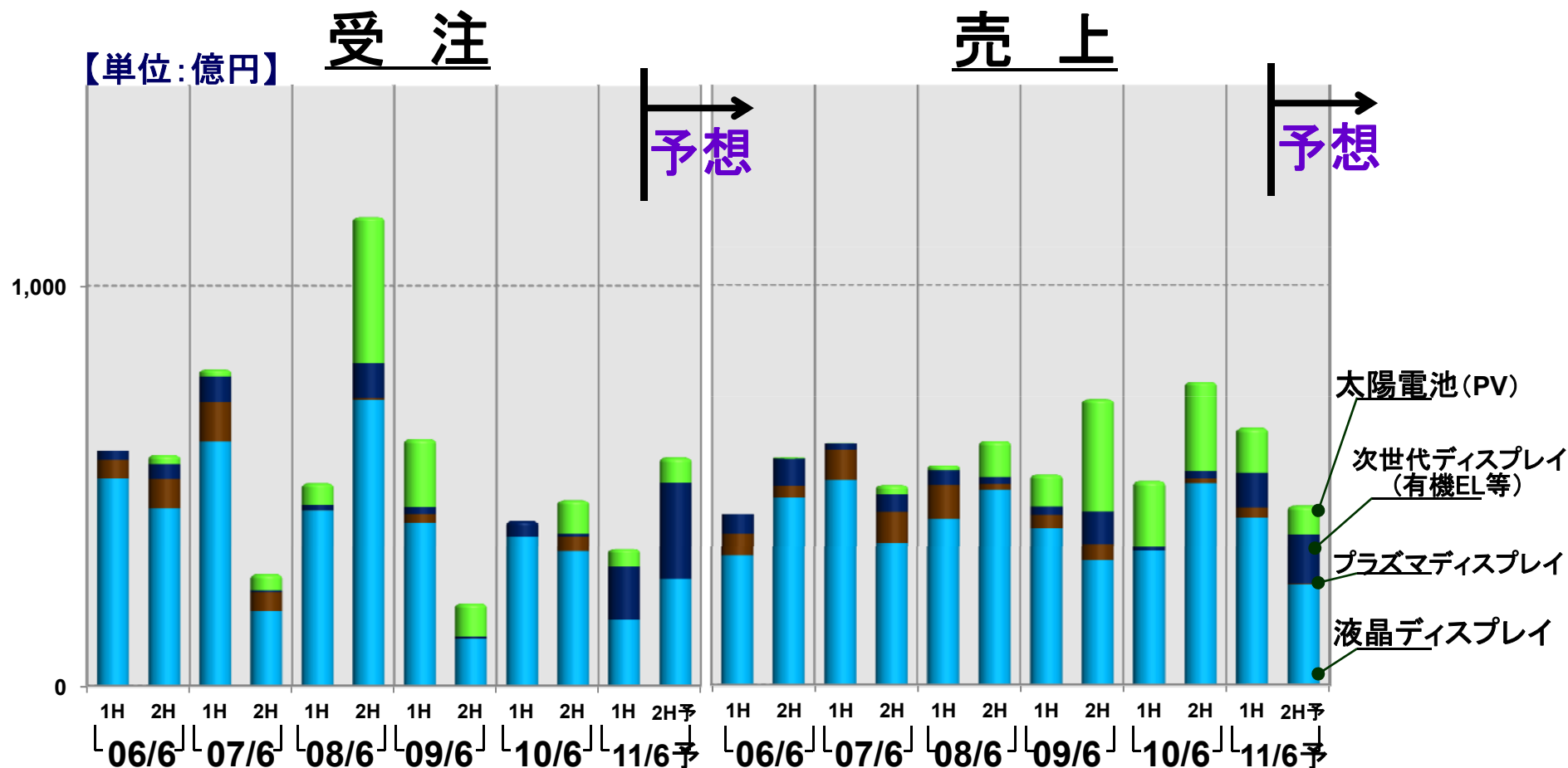
【単位:億円】



下期の利益は、FPD製造装置、半導体・電子部品製造装置の黒字幅が縮小の見込み。一般産業用装置、材料・部材、その他の業績が好転。PVは継続して赤字の見込み。地域では韓国、中国、台湾が好調。

【()内は前年同期比、増減率、百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

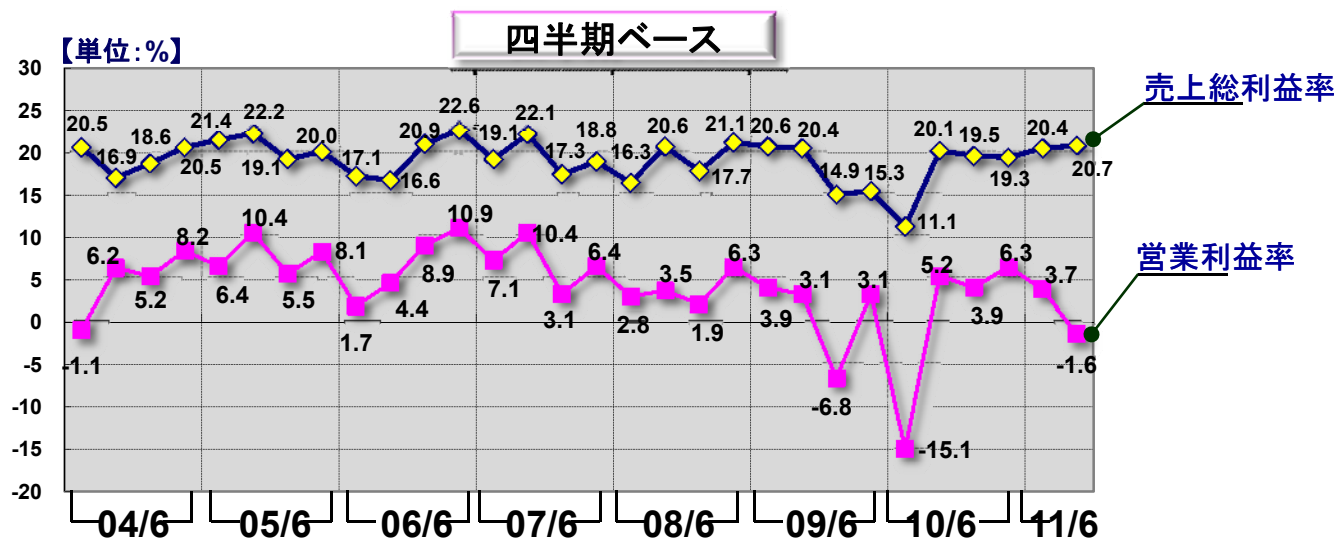
FPD製造装置・PV製造装置の推移・予想



足元の受注環境

- ◆液晶ディスプレイは、中国が不透明。全般的に投資が低調。
- ◆中小型ディスプレイの有機EL、低温ポリシリコン(LTPS)の引合い、受注が増加。
- ◆太陽電池は、薄膜が低調。高効率結晶系、化合物系(CIGSなど)の引合い、受注が堅調。

利益率の推移・予想



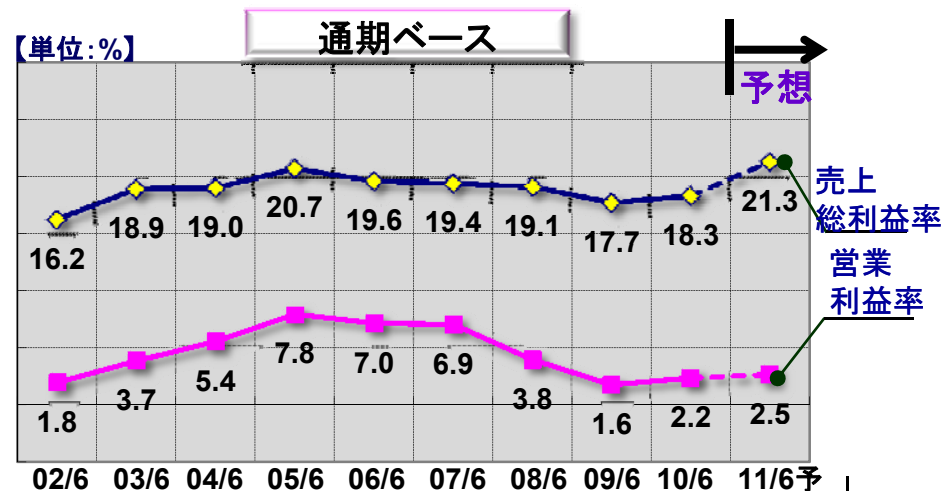
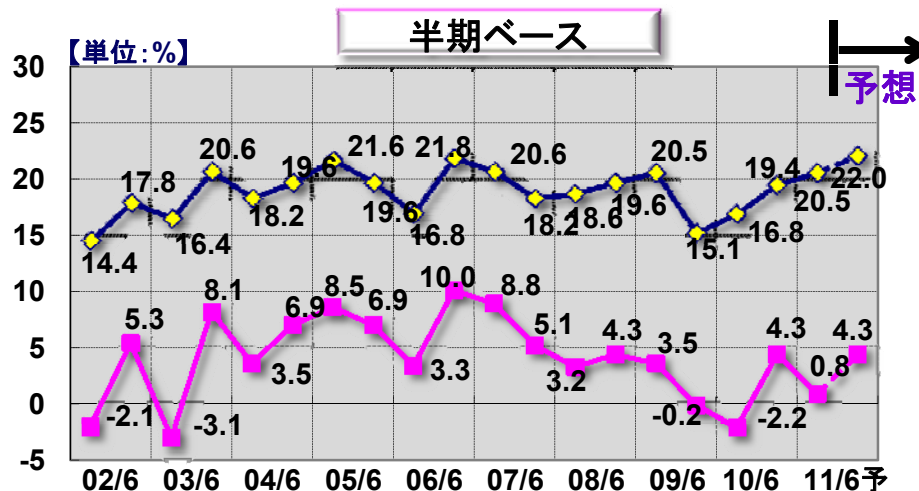
コメント

2011/6期 2Q(累計)

売上総利益率はFPD製造装置、半導体・電子製造装置、コンポーネント等が寄与し収益性向上。営業利益率は、貸倒引当金の影響で大幅減。

2011/6期 下期

FPD,半導体・電子など堅調。一般産業機器、材料、その他の業績が好転し、売上総利益率が上昇。

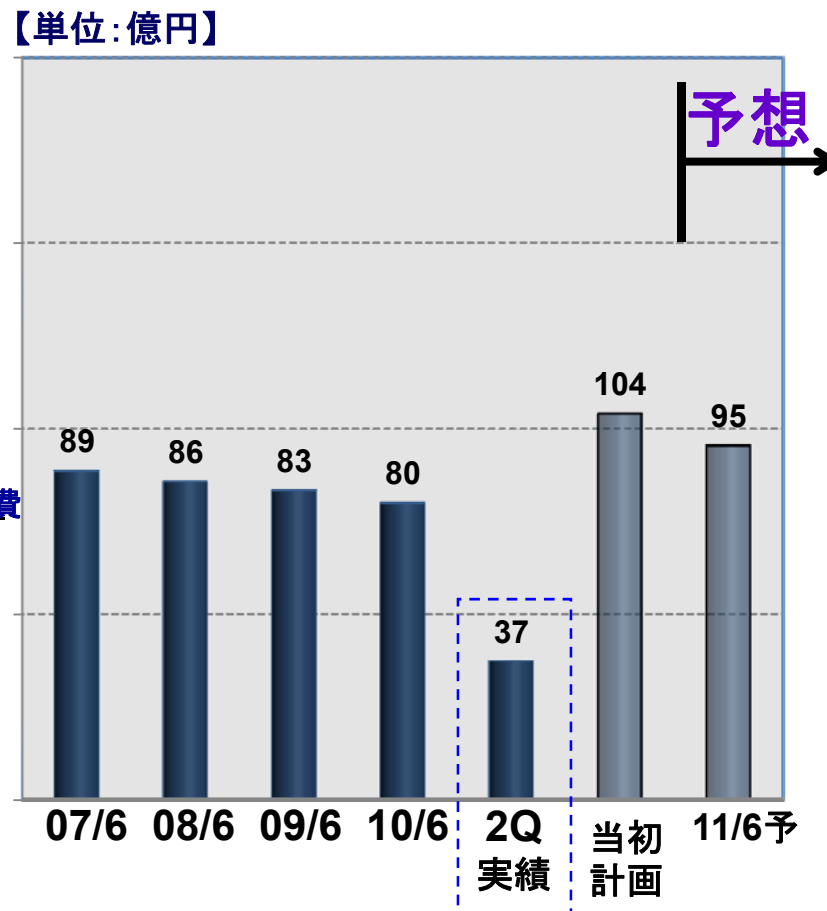
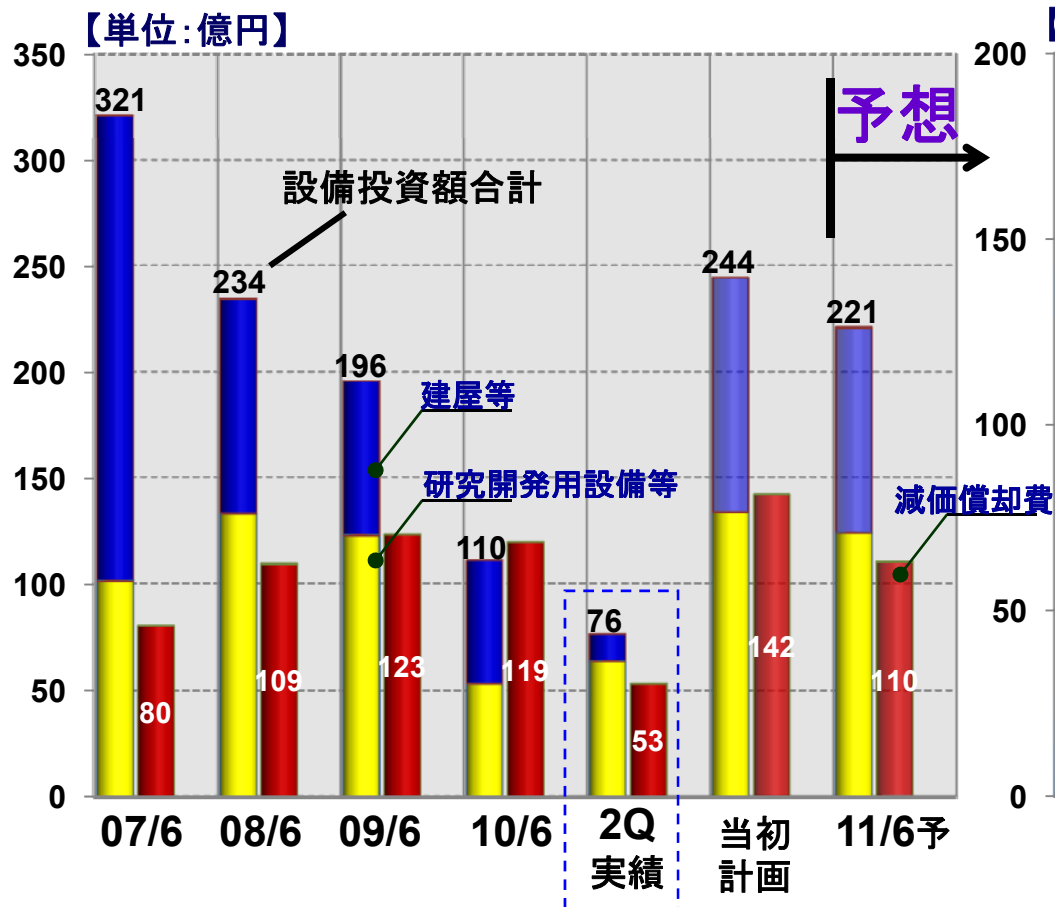


【小数点以下第2位は四捨五入】

設備投資、減価償却費、研究開発費の推移・予想

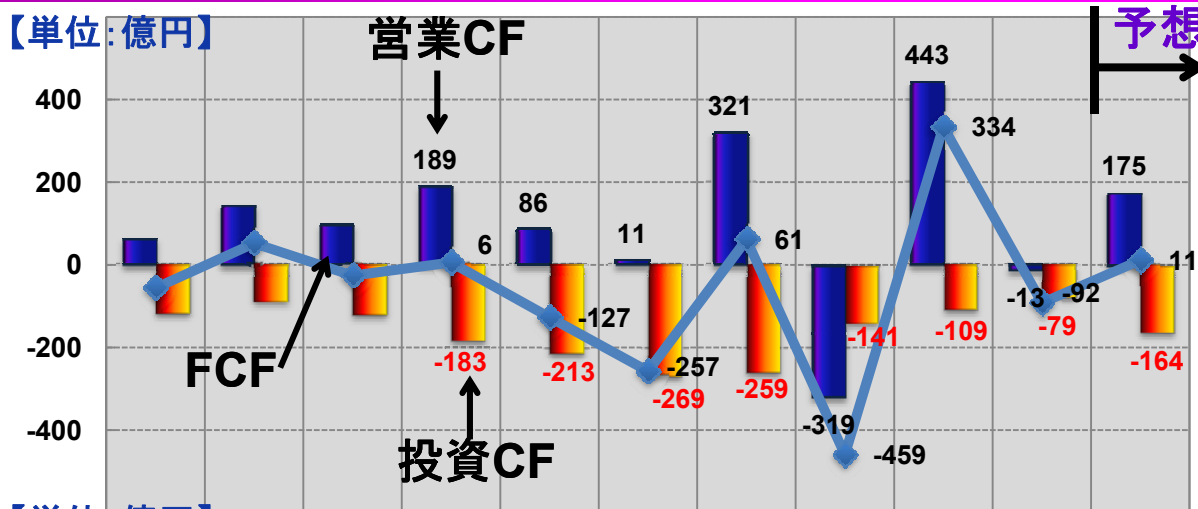
設備投資及び減価償却費の推移・予想

研究開発費の推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

キャッシュ・フローと有利子負債の実績・予想



2011/6期 2Q(実績)

FCF ▲92億円の要因

営業CF

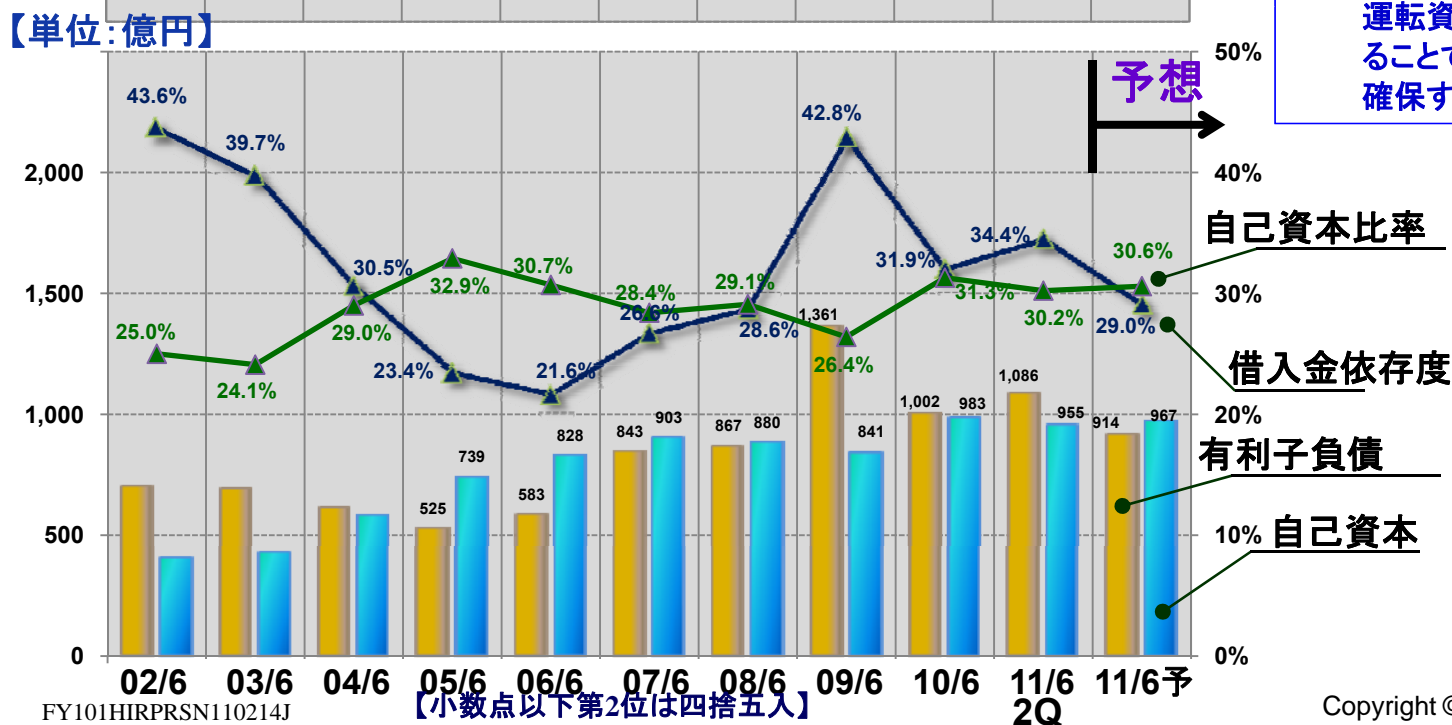
- ・アルティソーラーの売掛債権貸倒
- ・マテリアル事業の増産対応のため在庫積増

投資CF

- ・千葉超材料研究所建設、投資有価証券取得

2011/6期 下期(予想)

運転資金を中心に営業CFが改善することで、通期計画値FCF11億円を確保する見込み



-
-
- 今後の事業展開について

代表取締役社長

諏訪秀則

重点施策の進捗状況(2011/6期)(1)

重点施策	内容	進捗状況
①再生可能エネルギー関連事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶太陽電池用装置の売上増(薄膜以外も注力) ▶太陽電池関連事業の幅を広げる ▶EV用急速充電器の拡販 	<ul style="list-style-type: none"> ■化合物(CIGS)系、結晶系を受注 ■EV用急速充電器の販売好調
②マテリアル事業	<ul style="list-style-type: none"> ▶国内外の設備投資、技術開発を積極的に実施 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・蘇州のターゲット製造拠点の稼働開始
③生産体制の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ▶グローバルな視点からグループ全体の生産体制の見直し ▶最適な生産体制を構築、コストダウンを追求 	<ul style="list-style-type: none"> ■中国・蘇州にFPD、PV用大型装置製造工場建設を決定 ■中国調達センターの設立 コストダウンのカギを握る中国で調達活動を強力に推進 ■国内グループ会社の再編

重点施策の進捗状況(2011/6期)(2)

重点施策	内容	進捗状況
⑤グローバル化	<ul style="list-style-type: none"> ▶中国事業 現地法人設立と拠点拡充の投資から、リターンを確実なものにするため中国各社の体制強化に注力 ▶ポスト中国を模索 南米など新興国の市場開拓に注力 	<ul style="list-style-type: none"> ■大半の中国現地法人は黒字達成を予測。中国では、LED、電子部品、産業機器向けなどは過去最高益を予測。 ■南米、中東など市場調査
⑥新規事業の拡充	▶M&A,資本参加、アライアンス	■オプTRAN*との業務提携・出資(2010年10月)

オプTRAN社:光学薄膜用成膜装置専門メーカーとして、光学薄膜用蒸着装置、光学薄膜用スパッタリング装置を東アジアで積極的に拡販、光学薄膜用蒸着装置で大きなシェアを有している。

今後更に期待されるビジネス

■スマートフォン関連

タッチパネル

設備投資が活発化。巻取式成膜装置は前期比3倍の受注を見込む

関連する装置

- ・巻取式スパッタ装置
- ・インラインスパッタリング装置

小型液晶(LTPS)

有機EL

設備投資が活発化。FPD製造装置の受注額の半分を占める見込み。

関連する装置

- ・スパッタリング装置、PE-CVD装置
- ・真空蒸着装置、薄膜封止装置
- ・インクジェット装置、クライオポンプ等

半導体、電子部品

CPU,3Dアクセラレータ,メモリー(DRAM,フラッシュ),マイクロフォン,3次元加速センサー,方位測定センサー等広範囲に渡る

関連する装置

- ・スパッタリング装置
- ・エッチング装置
- ・蒸着装置 等

■LED関連

台湾、日本、中国が活況。今年度の受注高予測は前期比2倍を見込む。

■希土類磁石関連

熱処理炉など希土類磁石の一貫製造ラインを中国から受注



■ 貸倒引当金の処理について

貸倒引当金計上について

■ 内容

韓国アルティソーラー社に納入した、薄膜Si太陽電池一貫ラインに対する債権に取立不能又は取立遅延の恐れが生じたため貸倒引当金を計上。

■ 経緯

2008年5月

契約締結

同年 6月

前受金受領

同年10月

納入

2009年6月

検収、引き渡し後、アルティは生産開始

▶ しかし、金融危機の影響で、太陽電池市場の環境悪化。生産活動が滞り、資金繰りが悪化。事業計画が大きく狂う。

▶ 急激なウォン安(円高)により、必要資金が当初予算を大幅に上回った。

■ 当社の対応

法的な手段を含めた代金回収の通達、経営トップによる会談を重ねる。アルティは、その都度代表者名で「支払い確約書」や金融機関からの支援内容を当社に対し説明しており、当社は代金回収が可能であると判断した。

貸倒引当金計上について

■ 当社の対応（前頁の続き）

そのうえで、当第2四半期において同社に対し「支払いが履行されなければ、装置を引取る旨」の通告を行った。しかし、支払いは履行されなかったことから、債権の取立不能又は取立遅延の恐れが生じたため貸倒引当金を計上した。

■ 決算処理

▶ 貸倒引当金計上

50億41百万円を上期に販売費及び一般管理費に計上

（内訳）

個別引当 36億97百万円

一般債権繰入率上昇による引当 13億44百万円

■ 今後の対応

- ▶ 納入装置の保全の確保⇒装置の転売
- ▶ 法的手段の検討
- ▶ 再発防止として与信管理の見直し(支払い条件等)

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる、アルバック
ULVAC

本日は
ありがとうございました

連結貸借対照表(資産の部)

添付資料

【単位:億円】

	10/6期 2Q (参考)	10/6期	11/6期 2Q	増 減
流動資産	1,890	1,992	2,031	39
固定資産	1,169	1,146	1,127	△ 19
有形固定資産	932	896	904	8
無形固定資産	45	44	46	3
投資その他の資産	193	206	177	△ 29
資産合計	3,060	3,138	3,158	20

資産の部: 20億40百万円増加

流動資産:

◆受取手形及び売掛金 :69億72百万円増加

固定資産:

◆有形固定資産:7億71百万円増加(千葉超材料研究所等)

◆貸倒引当金:49億47百万円増加

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

連結貸借対照表(負債・純資産の部)

添付資料

【単位:億円】

	10/6期 2Q (参考)	10/6期	11/6期 2Q	増 減
(負債の部)				
流動負債	1,435	1,396	1,678	282
固定負債	768	717	486	△ 231
負債合計	2,203	2,113	2,164	51
(純資産の部)				
純資産合計	857	1,025	994	△ 31
負債及び純資産合計	3,060	3,138	3,158	20

負債の部 : 50億89百万円増加

- ◆短期借入金: 311億97百万円増加、長期借入金: 73億8百万円減少
- ◆社債(転換社債): 155億円10百万円減少
- ◆前受金: 16億5百万円減少

純資産の部: 30億50百万円減少

- ◆四半期純損失: 8億32百万円計上
- ◆評価・換算差額等: 7億71百万円減少
- ◆少数株主持分: 2億22百万円減少

【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。】

主な新設工場、新拠点の設立(2011/6期(2Q(累計))・今後の予定

中国

■愛発科電子材料(蘇州)



◆2010年10月竣工
(蘇州市)

■愛発科真空技術(蘇州)
第3期工場増設
(LED製造装置)



◆2010年10月竣工
(蘇州市)

日本

■千葉超材料研究所



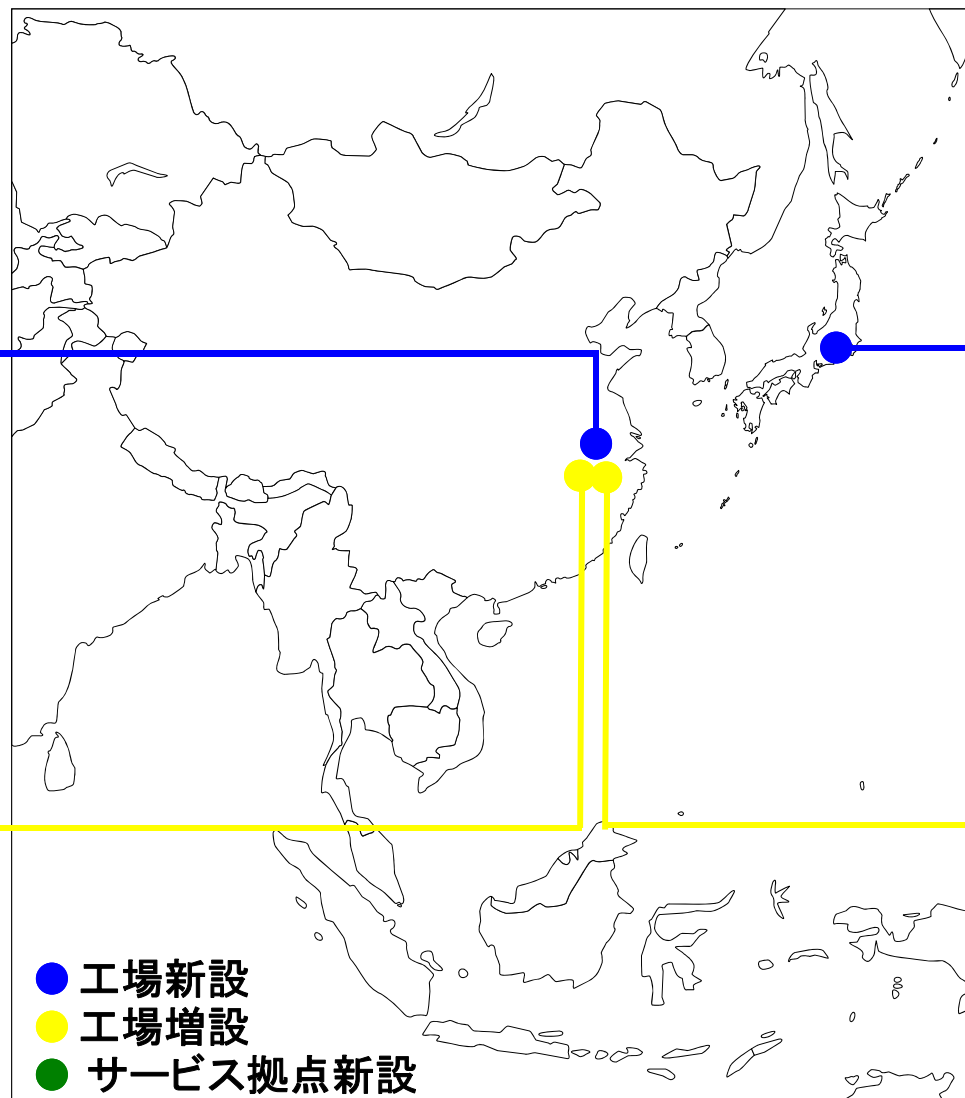
◆2010年7月竣工
(千葉県富里市)

中国

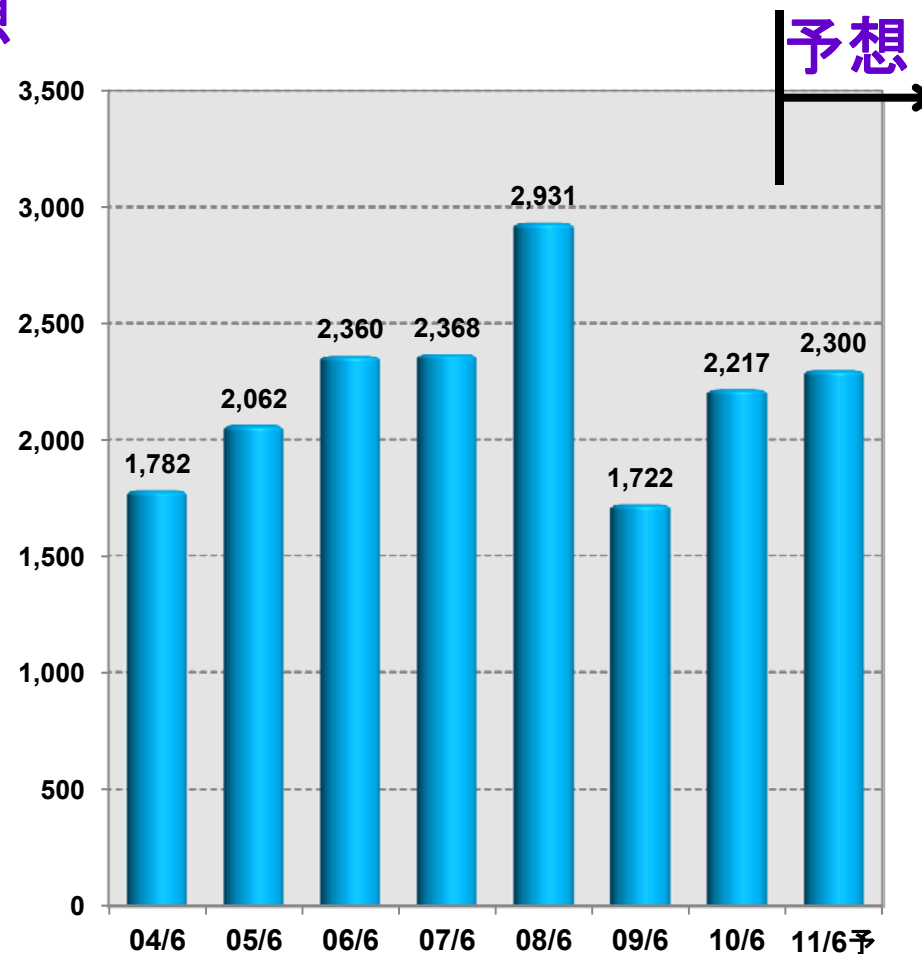
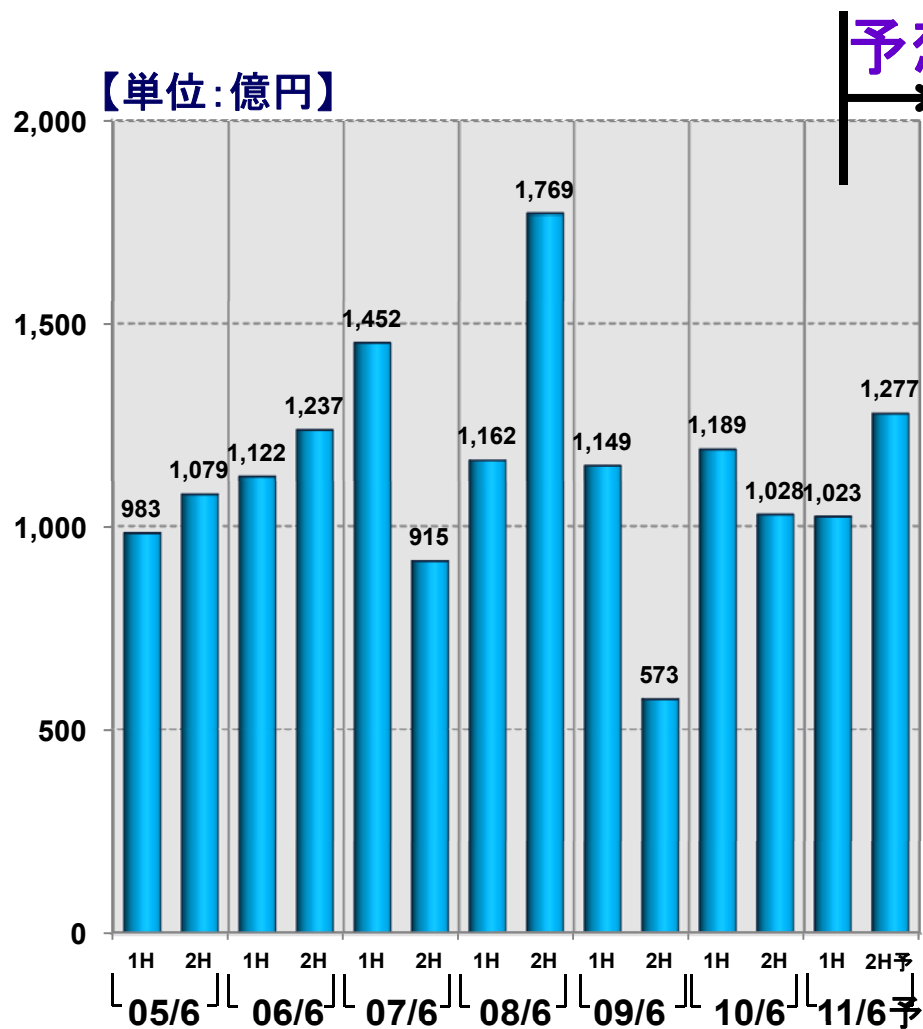
■愛発科真空技術(蘇州)
大型装置製造工場増設



◆2011年12月竣工予定
(蘇州市)

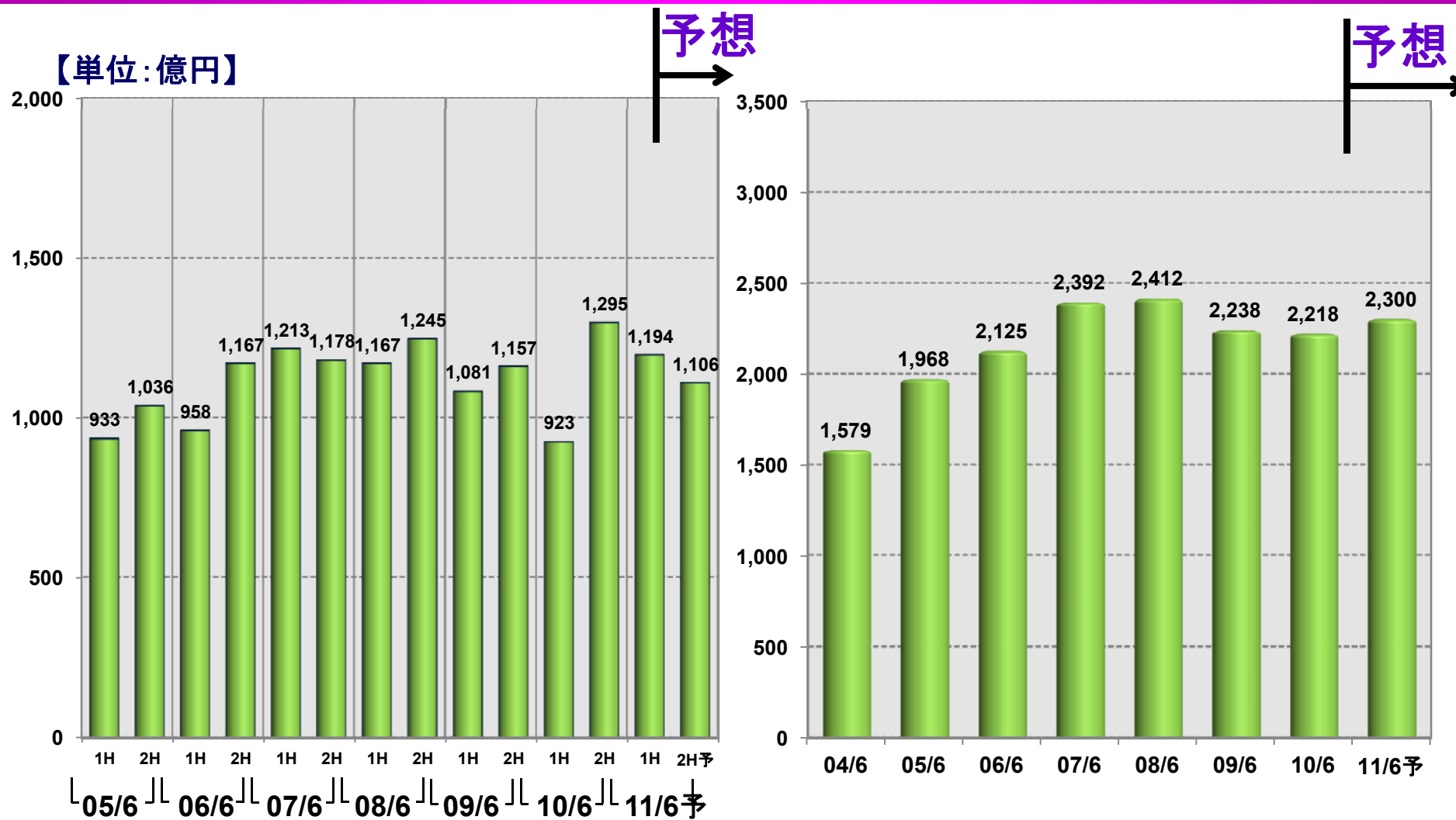


受注高推移・予想



【小数点以下は四捨五入】

売上高推移・予想

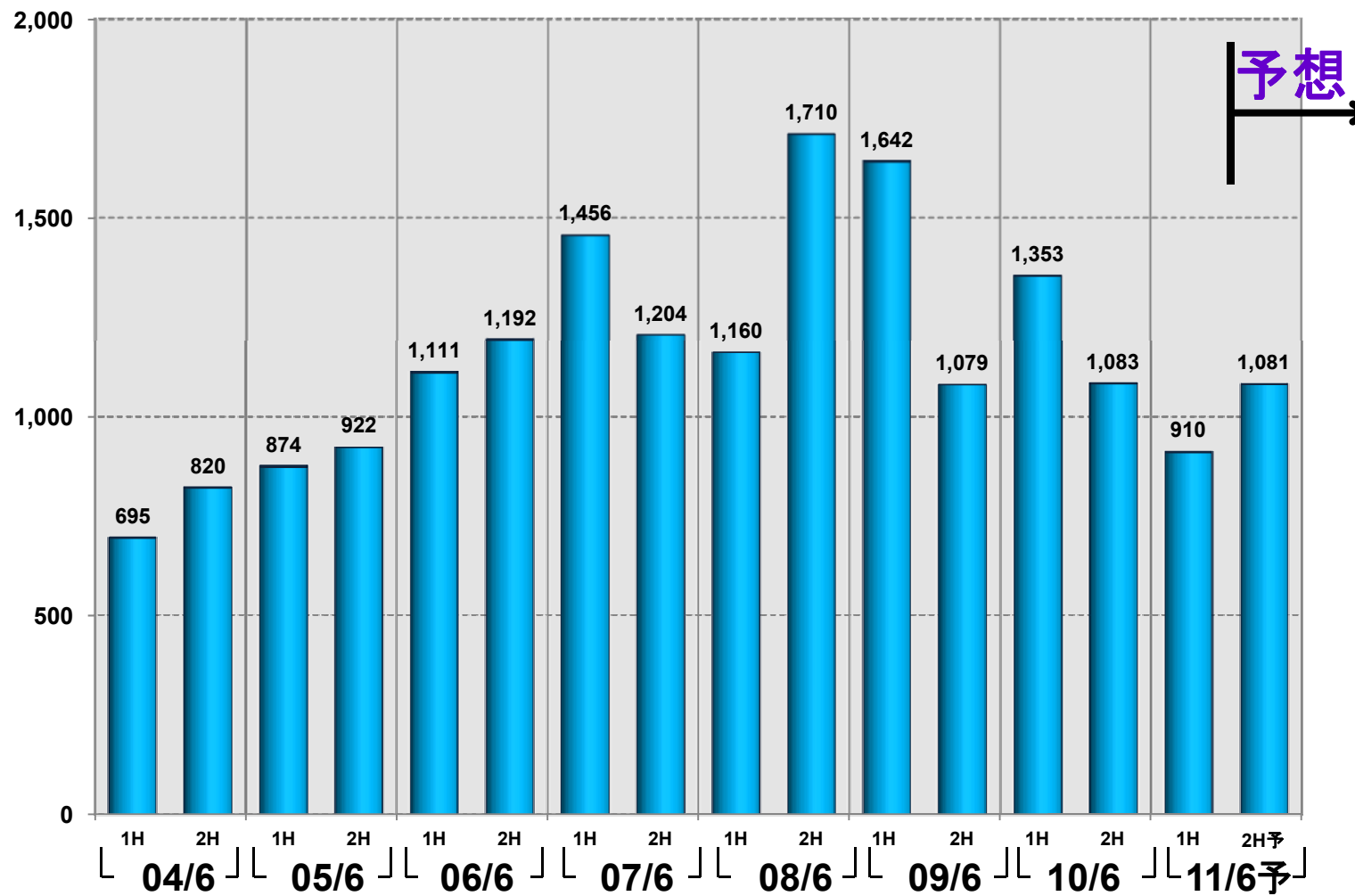


【小数点以下は四捨五入】

受注残高推移・予想

添付資料

【単位：億円】



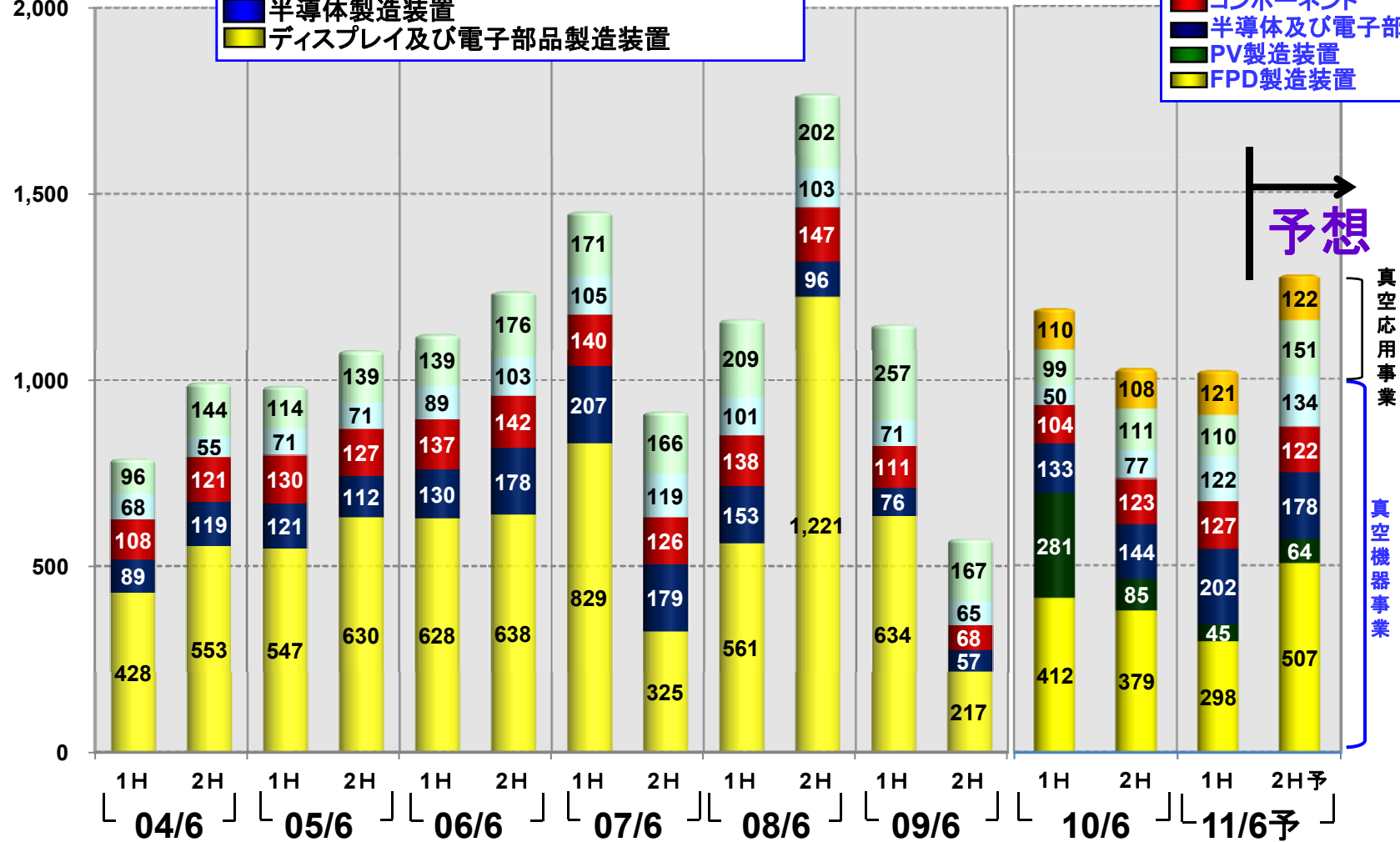
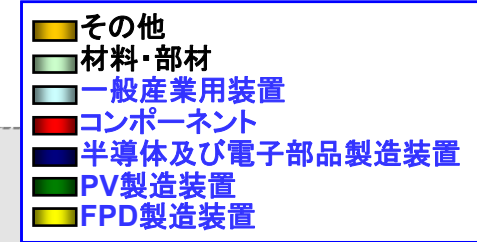
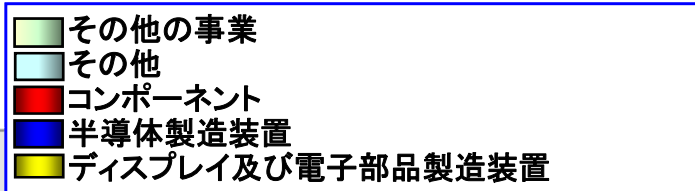
【小数点以下は四捨五入】

品目別受注高推移・予想

添付資料

【単位：億円】

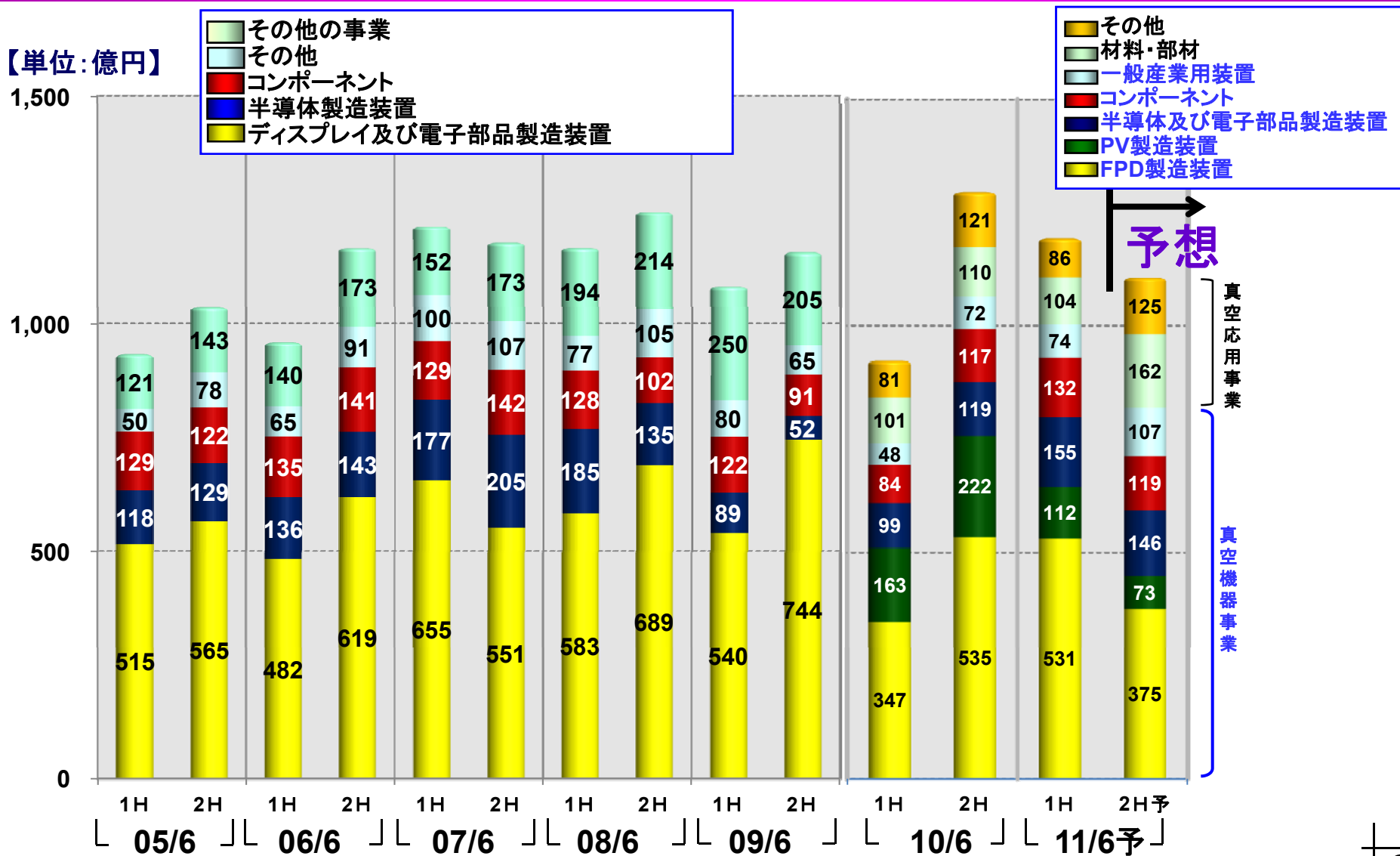
2,000



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

品目別売上高推移・予想

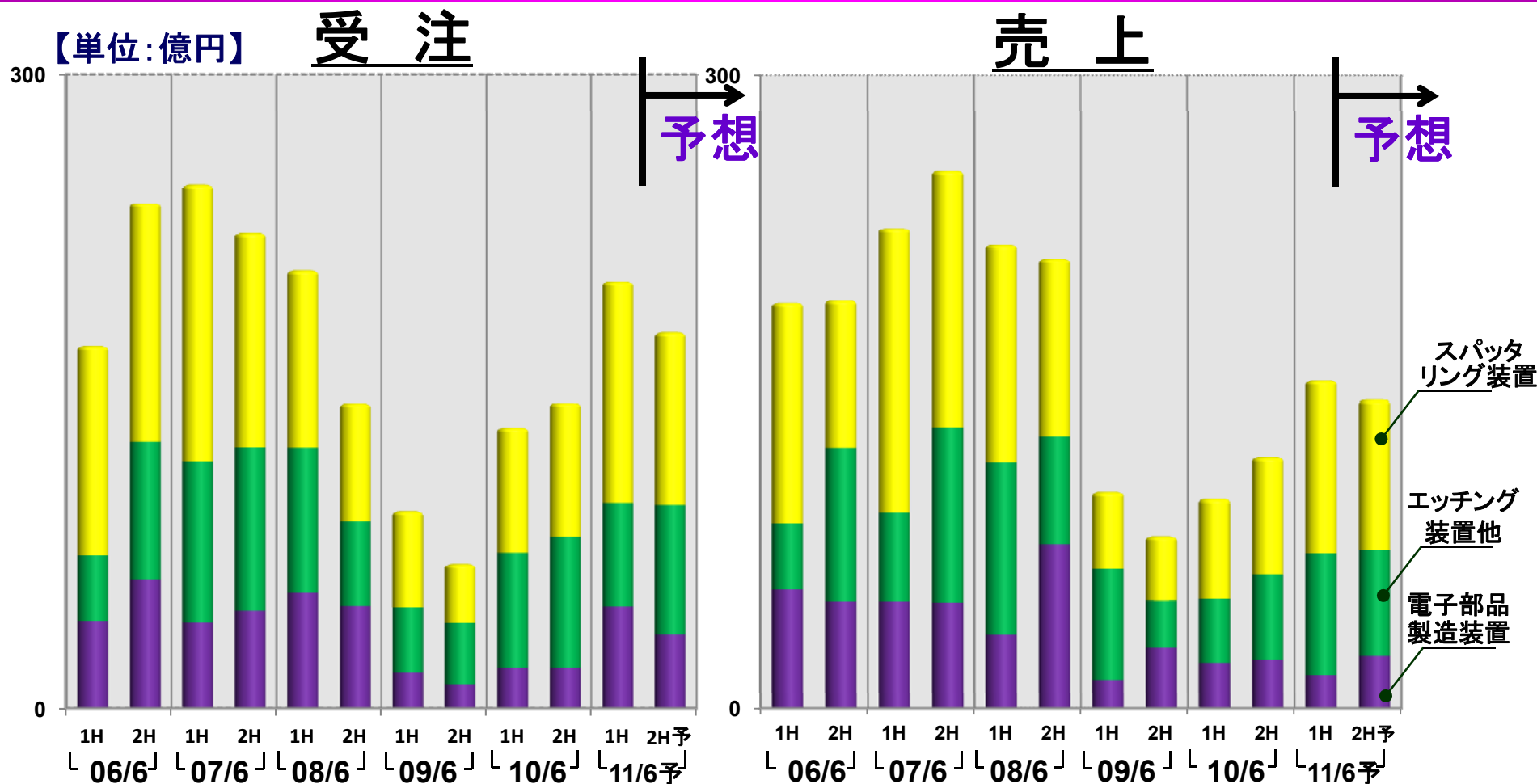
添付資料



【記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。
2010年6月期よりセグメント及び品目の名称が変更されています。】

半導体及び電子部品製造装置の推移・予想

添付資料

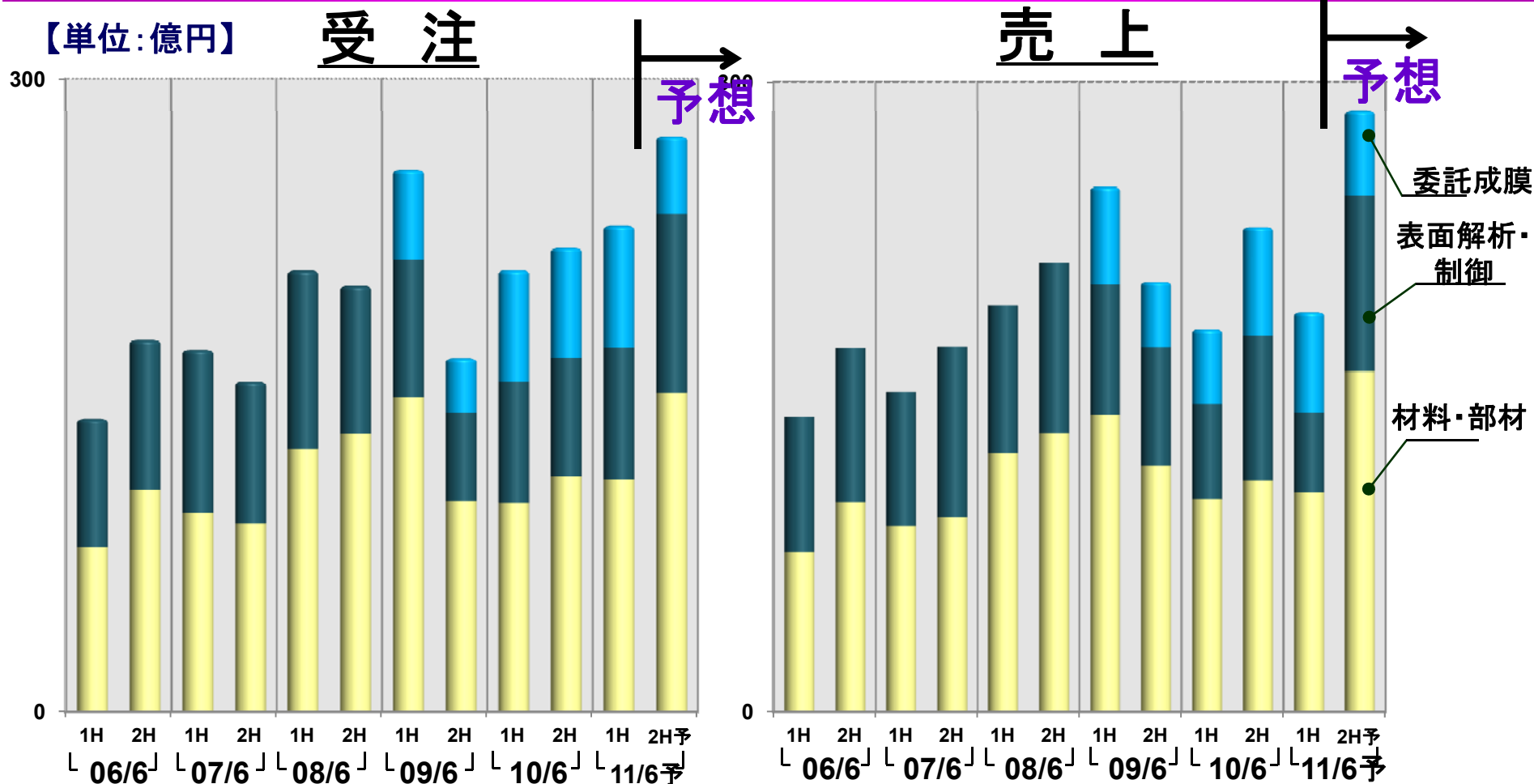


足元の受注環境

- ◆DRAM、フラッシュメモリは微細化投資が堅調。
- ◆LED関連は台湾、中国の受注、引き合いが堅調。韓国は足踏み。
- ◆スマートフォン関連の電子部品(センサー、SAWフィルターなど)堅調。

真空応用事業(その他の事業)の推移・予想

添付資料



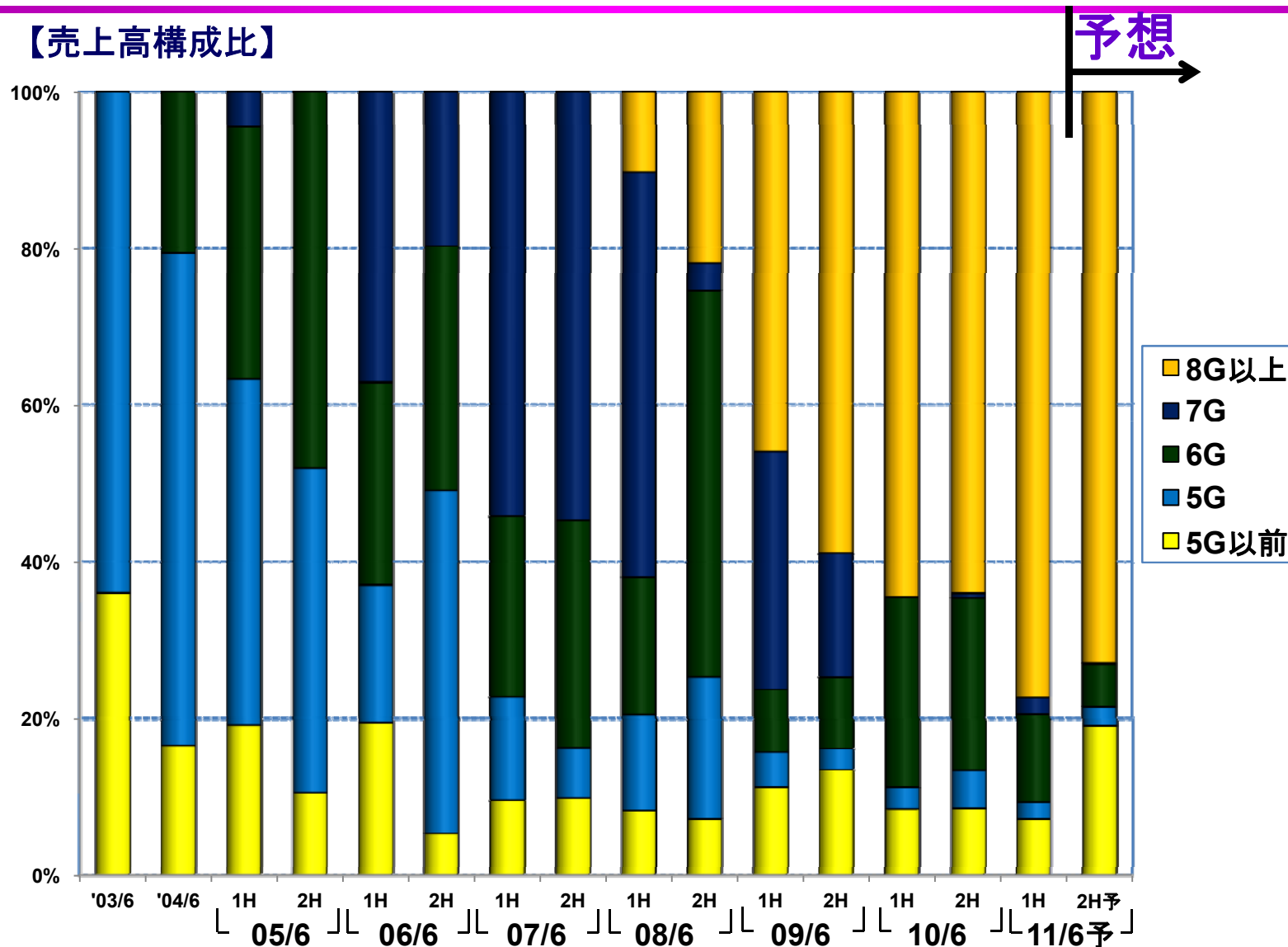
足元の受注環境

- ◆ 液晶を中心としたFPD業界向け、ターゲット材料ビジネスが回復。ITOなどの増産投資により受注増加。
- ◆ 中国向け中古機ビジネスは熾烈な価格競争で期待薄。EV関連の引合が増加。
- ◆ 表面分析関連は急回復。

液晶ディスプレイ製造装置の世代の推移・予想

添付資料

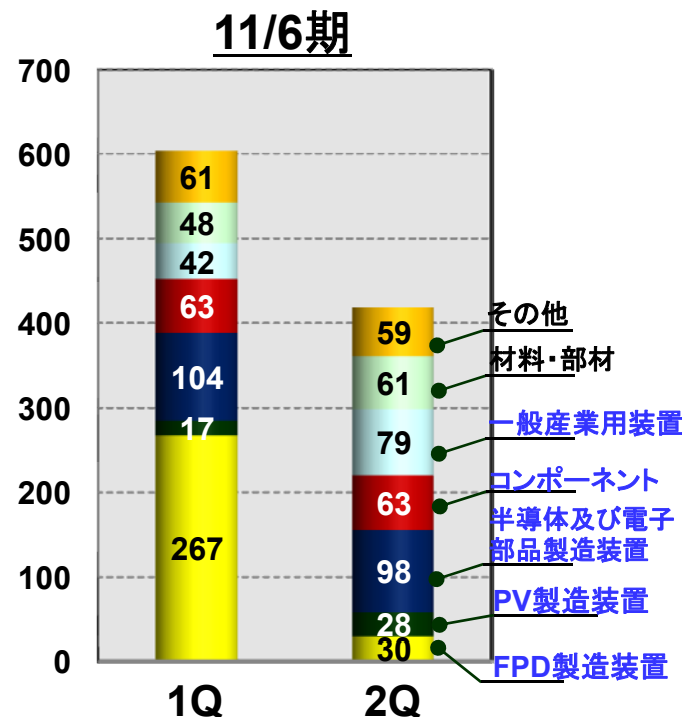
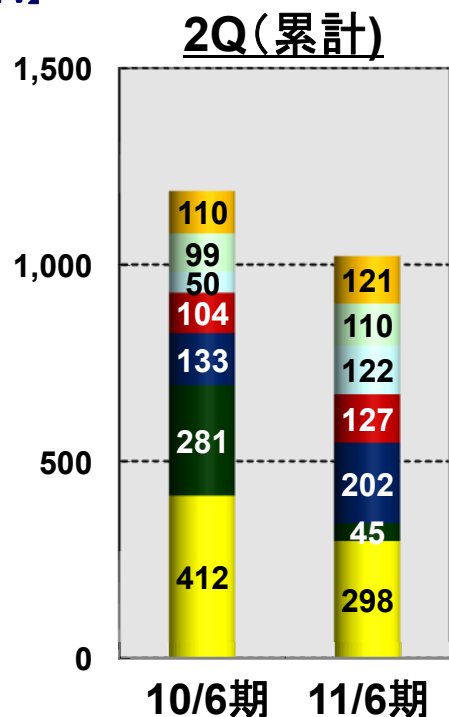
【売上高構成比】



品目別受注高の実績

添付資料

【単位:億円】



10/6期 2Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	980	82%
FPD製造装置	412	35%
PV製造装置	281	24%
半導体及び電子部品製造装置	133	11%
コンポーネント	104	9%
一般産業用装置	50	4%
真空応用事業	209	18%
材料・部材	99	8%
その他	110	9%
合計	1,189	100%

11/6期 2Q(累計)		
セグメント	受注高	構成比
真空機器事業	792	77%
FPD製造装置	298	29%
PV製造装置	45	4%
半導体及び電子部品製造装置	202	20%
コンポーネント	127	12%
一般産業用装置	122	12%
真空応用事業	230	23%
材料・部材	110	11%
その他	121	12%
合計	1,023	100%

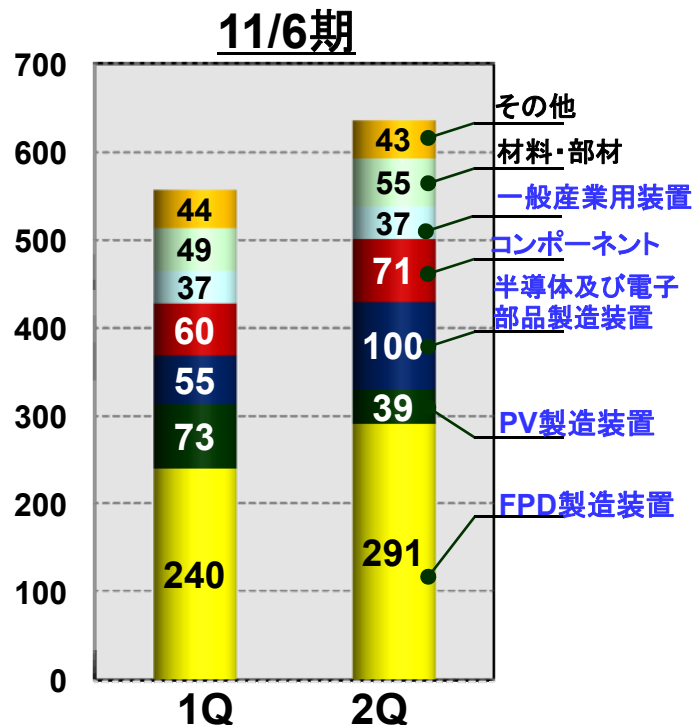
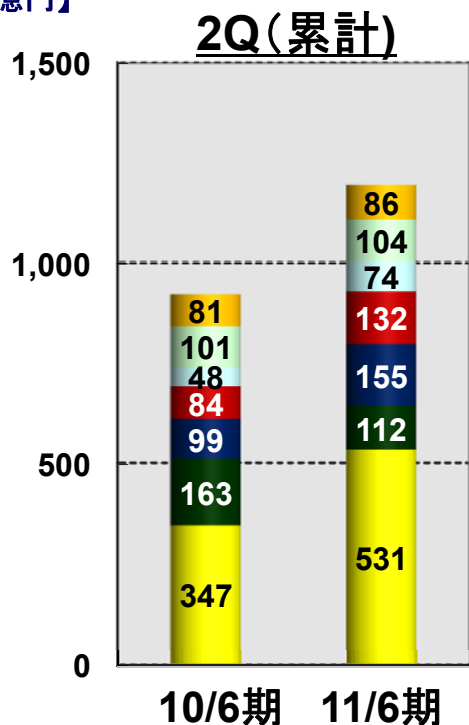
1Q		2Q	
受注高	構成比	受注高	構成比
494	82%	299	71%
267	44%	30	7%
17	3%	28	7%
104	17%	98	23%
63	10%	63	15%
42	7%	79	19%
110	18%	121	29%
48	8%	61	15%
61	10%	59	14%
604	100%	419	100%

(注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

品目別売上高の実績

添付資料

【単位：億円】



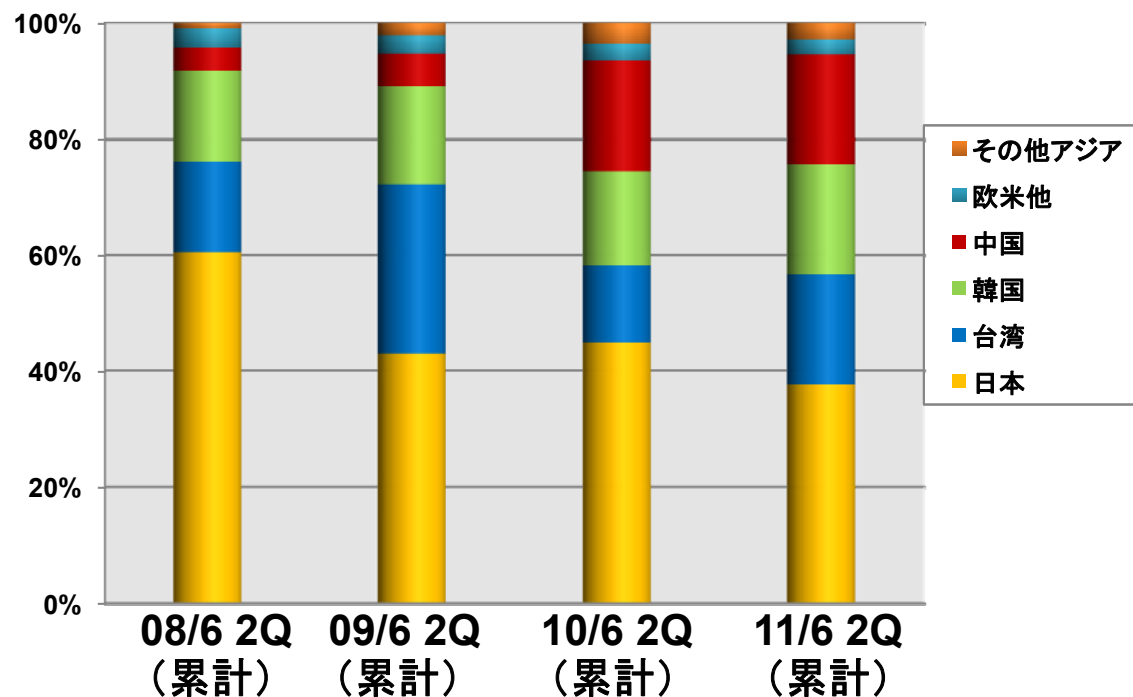
10/6期 2Q(累計)			
セグメント	売上高	構成比	
真空機器事業	741	80%	
FPD製造装置	347	38%	
PV製造装置	163	18%	
半導体及び電子部品製造装置	99	11%	
コンポーネント	84	9%	
一般産業用装置	48	5%	
真空応用事業	182	20%	
材料・部材	101	11%	
その他	81	9%	
合計	923	100%	

11/6期 2Q(累計)			
セグメント	売上高	構成比	
真空機器事業	1,004	84%	
FPD製造装置	531	44%	
PV製造装置	112	9%	
半導体及び電子部品製造装置	155	13%	
コンポーネント	132	11%	
一般産業用装置	74	6%	
真空応用事業	190	16%	
材料・部材	104	9%	
その他	86	7%	
合計	1,194	100%	

1Q		2Q	
売上高	構成比	売上高	構成比
465	83%	539	85%
240	43%	291	46%
73	13%	39	6%
55	10%	100	16%
60	11%	71	11%
37	7%	37	6%
93	17%	98	15%
49	9%	55	9%
44	8%	43	7%
557	100%	636	100%

(注) 記載された金額は四捨五入しておりますので各項目の合計値が一致しない場合があります。

地域別売上高構成比



【単位:億円】

地 域	08/6 2Q (累計)	09/6 2Q (累計)	10/6 2Q (累計)	11/6 2Q (累計)
日 本	707	464	415	448
台 湾	182	316	123	229
韓 国	182	184	149	226
中 国	47	60	176	225
その他アジア	11	24	34	34
欧米他	38	33	26	31
合 計	1,167	1,081	923	1,194

【百万円単位で計算後、単位未満四捨五入】

真空テクノロジーで

「つくる」をつくる、アルバック

ULVAC